

つながいずむ設立趣意書

わたしたちは、子どもたちが自分の可能性を信じ、自ら選択肢を広げ、学校教育にとどまらず主体的に学び、生きる力を身につけられる社会を目指して、この会を設立しました。

活動の目的

主に高校生までの子どもたちを対象に、教育に焦点を当てた支援をし、地域社会の様々な人々との交流を通じて、子どもたちが自らの力を生かし、自立して生きていける地域社会の実現に寄与することを目的とします。

設立の趣旨

現代の教育システムのキーワードは「画一化」です。すべての子どもたちに対して、彼らの興味とは無関係に、学習指導要領に基づいた内容を同じペースで学習させ、成果を数値化し、一定の基準を満たすことが求められています。

私たちは、学びを学校での教育にとどまらない、自立につながる、生きる力を身につける活動であると考えています。学生時代に強く心に残っていることとして、部活動や授業時間以外のいわゆる余暇の時間である場合がほとんどだと思います。何の意味もないと思っていたことが本当はとても大切な時間であったという気づきは、多くの方が経験しているのではないのでしょうか。

地域社会の様々な人々との交流を通じ、多様な価値観に触れ、子どもたちが主体的に学び、主体的に自分の人生を選択すること、それを実現するための社会の実現を目指し、私たちは活動しています。

2024年7月

つながいずむ運営 一同

活動内容

子どもたちが多様な価値観に触れ、将来の可能性を広げるとともに、自分自身で主体的に将来を選択できるようになることを目指して、以下の活動を行っています。

学習スペース「つながいずむ」の開催

主に高校生までの子どもたちが地域社会の様々な人々と関わるができる居場所として、1か月に1回開催しています。本人が望めば、学校の宿題や課題と一緒に取り組むこともできます。

また困難を抱えている子どもたちには、居場所の中で話してくれたことを本人と同じ立場で考え、一緒に悩み、模索していきます。

参加者やスタッフといった関係性や、年齢や性別の垣根を超えて、皆が対等にいられる場所を目指しています。

場所は、執筆時点(2024年7月)では、札幌市円山駅近くの貸付施設で開催しています。開催場所が変わることもありますので、公式Instagramを適宜参照してください。

ワークショップの企画

子どもたちにとって最も身近な共通体験として、学校教育があります。しかし、子どもたちの中には、学校での勉強は怠惰で辛いものと感じ、無気力や無関心に陥ることがあります。

私たちは、学校教育をより身近で自分にとって有益であり、目的を達成するための道具であると感じることができたら、子どもたちの主体的な学びを実現できると考えました。

居場所開催時にワークショップを不定期に行っています。

2024年7月

つながいずむ運営 一同